

プログラム・抄録集

第73回

九州学校保健学会

子どもの“サイン”を支援へ
～見えないSOSを学校・医療・地域で支える～

— 会長 —

深野 玲司

産業医科大学小児科学講座 教授



会 期

2026年 8月 23日(日曜日)
10:00～15:10(受付 9:30～)



会 場

AIMビル 3階会議室

(現地・Webのハイブリッド開催)

福岡県北九州市小倉北区浅野3-8-1 AIMビル3階



連絡先

第73回九州学校保健学会・大会事務局
(産業医科大学小児科学講座内)

〒807-0855 福岡県北九州市八幡西区医生ヶ丘 1-1

TEL : 093-691-7254 (小児科直通) FAX : 093-691-9338



第73回 九州学校保健学会

The 73rd Kyushu School Health Conference

- ◆ 開催テーマ:子どもの“サイン”を支援へ
～見えないSOSを学校・医療・地域で支える～
- ◆ 開催形式:現地・Webハイブリッド開催
- ◆ 会 場:AIMビル3階会議室
- ◆ 会 長:深野 玲司
(産業医科大学小児科学講座 教授)

第73回 九州学校保健学会事務局
産業医科大学 小児科学講座

〒807-8555

福岡県北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1

TEL : 093-691-7254

FAX : 093-691-9338

E-mail : reiko-z@med.uoeh-u.ac.jp

(事務局長 齋藤 玲子)

大会長挨拶

第73回九州学校保健学会 会長 深野 玲司

(産業医科大学 小児科学講座 教授)

この度、第73回九州学校保健学会を2026年8月23日に北九州市で開催させていただきますことを、大変嬉しく思います。ご参加いただく皆様、ならびに開催に向けてご尽力いただきました関係者の皆様に、心より御礼申し上げます。

近年、子どもたちを取り巻く環境は大きく変化しています。不登校、発達やこころの問題、虐待、貧困、SNSやインターネットに関連した課題など、子どもたちが抱える困難は多様化・複雑化しています。その一方で、子ども自身が言葉で助けを求めることは容易ではなく、周囲が小さな変化や“サイン”に気づき、適切な支援につなげることの重要性が、これまで以上に高まっています。

本学会では、「子どもの“サイン”を支援へ ～見えないSOSを学校・医療・地域で支える～」をテーマに掲げました。子どもたちが発するさまざまなサインを、学校、医療、家庭、地域がどのように気づき、受け止め、支援へと結びつけていくのかについて、多職種・多領域の視点から考える機会にしたいと考えております。

基調講演では、一般社団法人ジェイス代表理事・元武蔵大学教授の武田信子先生をお招きし、「子どもの“サイン”を支援へ ～見えないSOSを学校・医療・地域で支える～ 予防一子が育つ場のつくり方」と題してご講演いただきます。子どもたちが安心して育つことのできる環境づくりについて、豊富なご経験と深いご見識からお話いただけるものと期待しております。

また、シンポジウム「子どもの“サイン”をつなぐ ― 学校・医療・地域の連携 ―」では、学校健診における成長曲線に基づいた気づき、保健室での支援の実際、さらに子ども食堂での地域包括支援や居場所づくり、食支援を含めた地域連携の実践について、それぞれの立場からご講演いただきます。学校保健に関わる多職種が互いの役割を理解し、連携を深めることで、子どもたちを切れ目なく支える仕組みづくりにつながることを願っております。本学会が、日々子どもたちに向き合う皆様にとって、新たな学びと交流の場となり、今後の実践につながる機会となれば幸いです。

最後になりましたが、本学会の開催にあたりご協力いただきました関係各位に深く感謝申し上げますとともに、本学会が実り多いものとなりますことを祈念し、会頭あいさつとさせていただきます。

令和8年8月 吉日

第 73回九州学校保健学会

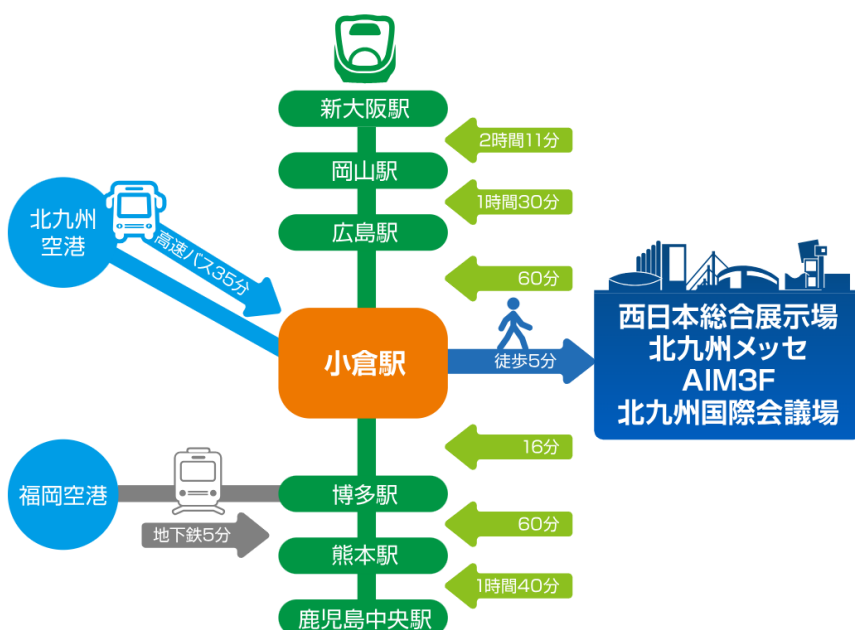
会長

深野玲司



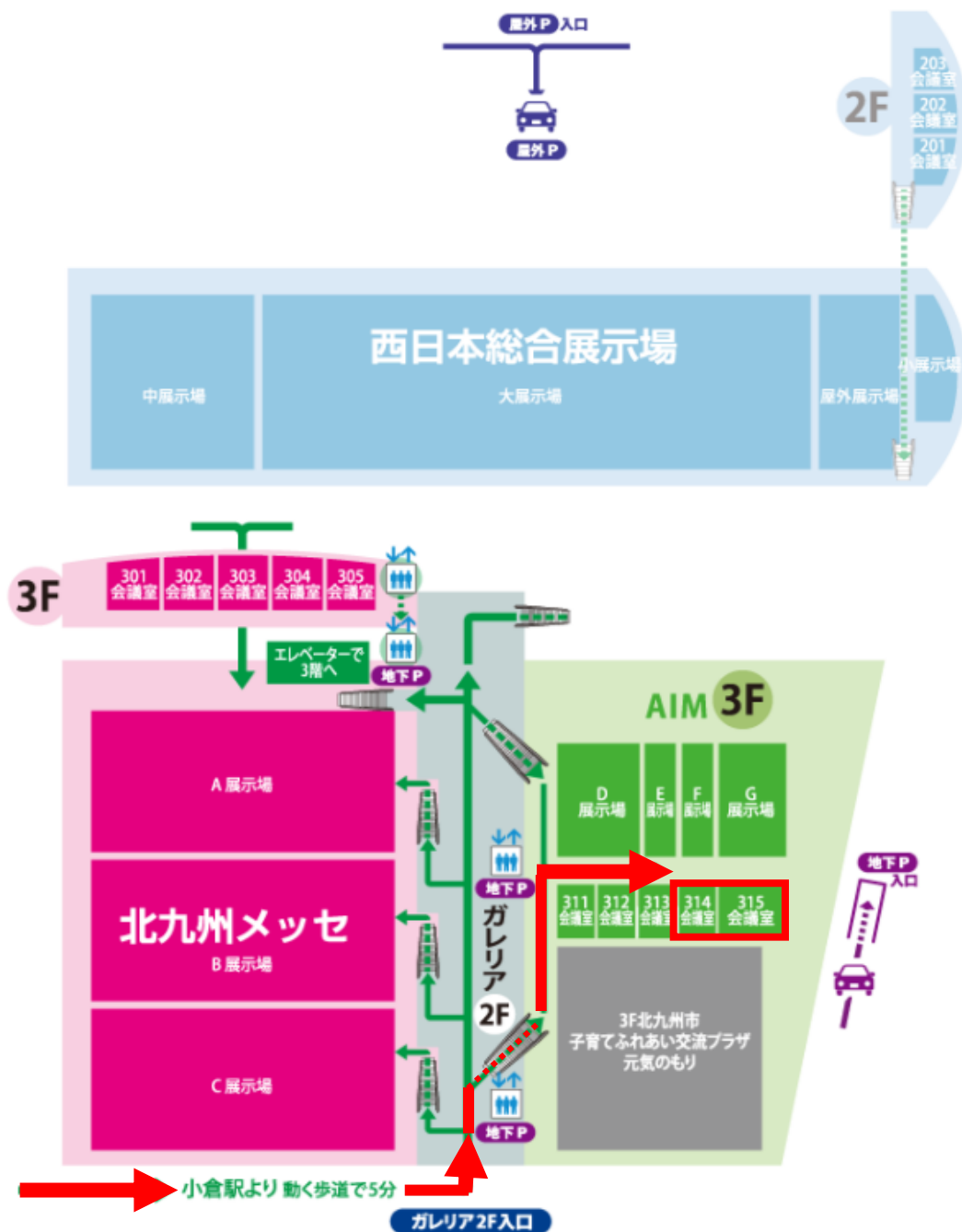
地図・会場アクセス

【小倉駅から会場まで 徒歩5分】



上記QRコードより、
詳細なアクセスマップ
を見ることができます。

会場案内図



ご案内

学会参加の皆様へ

1. 学会場のご案内

今年はAIMでの現地開催とWebを用いての配信のハイブリッド形式にて行います。

2. 参加手続き

現地でのご参加:学会ホームページにての登録もしくは当日現地での手続きが可能です。

Web でのご参加:学会ホームページ (<https://conks.jp/73kash/>)にて登録をお願いします。



視聴には参加登録及び参加費決済が必要となります。

決済後の返信メール内に「視聴ページ」へのログイン用IDとパスワードを記載いたしております。

3. 参加登録費

1,000 円

(Webでのクレジットカード決済もしくは現地での現金支払いのいずれかをご選択ください。

クレジットカード決済の場合はWeb参加の登録後に案内があります。)

学生: 無料 (当日会場で学生証をご提示ください)

4. 年会費

2,000 円

会員の方は Web での参加費支払い時に同時にお収めいただけます。

現地参加の方は、学会当日、会場に用意した事務局受付でも納入可能です。

または学会案内に同封の郵便振替用紙にて事務局あてにご送金ください。

振替口座 01770-5-10049 九州学校保健学会

連絡先の確認:住所等の変更は、振替用紙の通信欄にて変更の内容をお知らせ下さい。

変更前と変更後の両方をご記入願います。

5. 新入会受付

入会金は無料です。年会費を納入ください。

6. 評議員会

8月23日 12:10より開催いたします(現地参加の先生には昼食を用意いたします)。

座長と演者の先生へ

講演時間

- 一般演題:講演 7 分、質疑 3 分
- 基調講演:講演 90 分
- シンポジウム:講演 30 分、総合討論 25分

1. 座長の先生へのお願い

- (1) 受付の際に、座長である旨のお声掛けをお願いいたします。
- (2) ご自分の担当セッション開始 10 分前までに次座長席にお越しください。
- (3) 担当セッションが時間内に終了するようご配慮をお願いいたします。

2. 演者の先生へのお願い

- (1) 発表の 30 分前までに、スライド受付までデータをお持ち込みください。
- (2) 個人のPC持ち込みでの発表はできませんので、データをお持ち込みください。
- (3) 発表セッションの開始 10 分前までに、会場の左手前の次演者席にお越しください。
- (4) 発表スライドは、16:9(推奨)または 4:3 で作成してください。
- (5) 取り込んだ発表データは、発表終了後に事務局側で責任を持って消去いたします。

Web視聴の先生へ

ウェビナー配信時間

ZOOMウェビナー入室開始時間: 2026年8月23日(日) 9:30頃

視聴時の注意事項

- ・Zoom入室時の表示名は、参加申込時のお名前をご入力ください。
- ・本配信はZoomウェビナーを使用します。参加者のカメラ・マイクは使用できません。
- ・オンラインからのご質問は、Zoom画面内の「チャット」からお送りください。送信された内容はホスト・パネリストのみが確認します。
- ・進行時間の都合により、すべてのご質問に回答できない場合があります。
- ・入室時にBGMを流しております。音声聞こえない場合は、端末の音量とZoomのオーディオ設定をご確認ください。
- ・通信状況によって、映像・音声がかかる場合がございます。
- ・安定した通信環境での視聴を推奨します。映像・音声接続が不安定な場合は、一度退出し同じURLから再度ご入室をお試ください

取得可能単位

1. 第73回九州学校保健学会で取得可能な単位

現地参加の方に限り、下記の単位が取得可能です。

日本小児科学会 専門医更新単位 < iii) 小児科領域講習 1単位 >

* 基調講演 「子どもの“サイン”を支援へ ～見えないSOSを学校・医療・地域で支える
～予防—子が育つ場のつくり方

* シンポジウム 子どもの“サイン”をつなぐ — 学校・医療・地域の連携 —

日程表

8月23日(日)

	314・315	313
9:00		
	参加受付 (9:30 ～ 15:00)	
10:00	開会の辞 10:00 ～ 10:10	
	一般演題 10:10～10:30 座長：川越 倫子 (戸畑総合病院 小児科)	
11:00	基調講演 10:30 ～12:00 ★ 「子どもの“サイン”を支援へ ～見えないSOSを学校・医療・地域で支える～予防一子が育つ場のつくり方 座長：深野 玲司 (産業医科大学小児科 教授) 演者：武田 信子 (ジェイス代表理事・元武蔵大学教授)	
12:00	お昼休憩	評議員会 12:10 ～ 12:40
	総会 12:50 ～ 13:05	
13:00	シンポジウム 13:10 ～ 15:05 ★ 「子どもの“サイン”をつなぐー 学校・医療・地域の連携ー」 座長：友納 優子 (北九州市立総合療育センター 副所長)	
	1 成長曲線から「気づく」ために ～学校健診における発育評価と疾患、生活習慣、養育環境の視点～ 演者：山本 幸代 (産業医科大学 医学教育担当教授)	
14:00	2 「気づく」から「つなぐ」へ ～保健室における子どもの支援の実践～ 演者：原口 暁 (北九州市教育委員会学校支援部学校保健課 主任指導主事)	
	3 子どもの困難に対する気づきと地域包括支援の実践 ～小児科医を起点とした居場所・食支援と連携～ 演者：金子 淳子 (一社キッズラップ代表理事・金子小児科 院長)	
15:00	開会の辞 15:05 ～ 15:10	

★新専門医制度 iii 小児科領域講習1単位

プログラム

開会の辞 10:00 ～ 10:10

一般演題 10:10 ～ 10:30

座長:川越 倫子(戸畑総合病院 小児科)

1.北九州市における小中学校を対象とした月経教育・相談についてのアンケート調査

1) 産業医科大学 小児科

○白山 理恵¹⁾、深野 玲司¹⁾

2.北九州市における保育施設および養育者の幼児期やせに対する認識と体格評価の実態—啓発活動に向けたアンケート調査—

1) 国立病院機構小倉医療センター 小児科 2) 産業医科大学 小児科

3) 産業医科大学医学部 医学教育担当教員

○多久葵^{1,2)}、山本幸代^{2,3)}、桑村真美²⁾、齋藤玲子²⁾

基調講演 10:30 ～ 12:00

座長:深野 玲司(産業医科大学 小児科学講座 教授)

「子どもの“サイン”を支援へ ～見えないSOSを学校・医療・地域で支える～
予防 — 子が育つ場のづくり方」

演者:武田 信子(ジェイス代表理事・元武蔵大学教授)

総会 12:50 ～ 13:05

シンポジウム 13:10 ～ 15:05

座長:友納 優子(北九州市立総合療育センター 副所長)

子どもの“サイン”をつなぐ — 学校・医療・地域の連携 —

1.「成長曲線から「気づく」ために

～学校健診における発育評価と疾患、生活習慣、養育環境の視点～

演者:山本 幸代(産業医科大学 医学部 医学教育担当教員)

2.「気づく」から「つなぐ」へ ～保健室における子どもの支援の実際～

演者:原口 暁(北九州市教育委員会学校支援部学校保健課 主任指導主事)

3.「子どもの困難に対する気づきと地域包括支援の実践

～小児科医を起点とした居場所・食支援と連携～

演者:金子 淳子(一般社団法人キッズラップ代表理事・金子小児科 院長)

閉会の辞 15:05 ～ 15:10

後援・協賛一覧 (各区分50音順)

【協賛】

- ・北九州市
- ・（公財）北九州観光コンベンション協会

【後援】

- ・北九州市
- ・北九州地区小児科医会
- ・福岡県小児科医会

【広告協賛】

- ・アレクシオンファーマ合同会社
- ・KMバイオリジクス株式会社
- ・サノフィ株式会社
- ・JCRファーマ株式会社
- ・中外製薬株式会社
- ・NPO法人にこり
- ・はぐむのあかりクリニック



はぐむのあかり
クリニック

第73回九州学校保健学会の開催にあたり、企業・団体の皆様よりご後援・ご協賛を賜りました。

ここに深く感謝し、厚く御礼申し上げます。

第 73 回九州学校保健学会
会長 深野 玲司



神経線維腫症1型治療剤 (MEK阻害剤) 薬価基準収載

コセルゴ[®] カプセル
10mg・25mg

Koselugo[®] 10mg・25mg Capsules / セルメチニブ硫酸塩カプセル

劇薬 処方箋医薬品 (注意-医師等の処方箋により使用すること)

効能又は効果、用法及び用量、警告・禁忌を含む注意事項等情報等については
電子添文をご参照ください。

製造販売元 (文獻請求先及び問い合わせ先)

アレクシオンファーマ合同会社

〒108-0023 東京都港区芝浦3丁目1番1号 田町ステーションタワーN

フリーダイヤル: 0120-577-657

受付時間 9:00~17:30 (土、日、祝日及び当社休業日を除く)

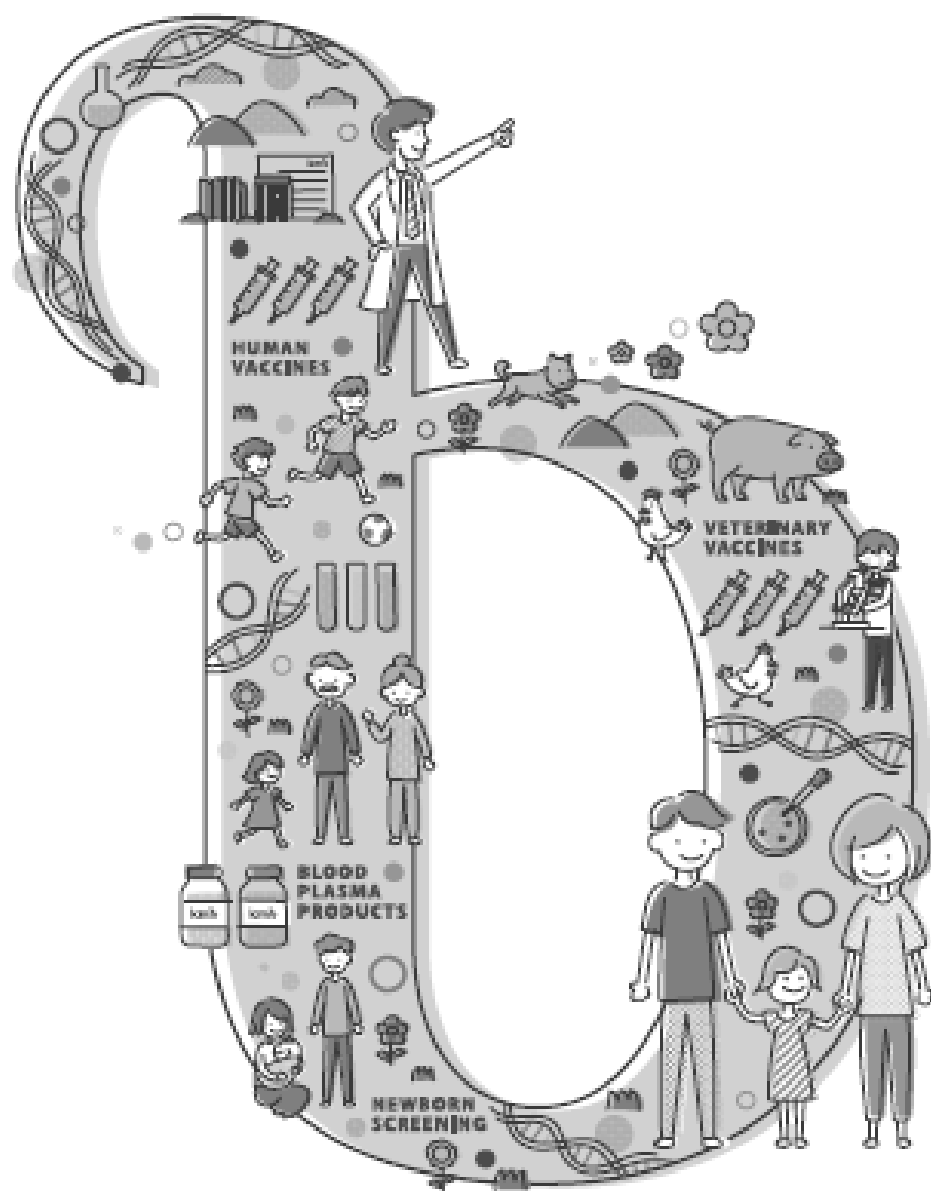
2025年8月作成

健康にアイデアを

kmb

健康で豊かな未来のために。

私たちは、KMバイオロジクスです。



ヒト用ワクチン

インフルエンザワクチンなど
人に接種するワクチン。
感染症の予防と公衆衛生の向上
に貢献しています。

動物用ワクチン

家畜(鶏・豚・牛など)やペット
(犬・猫)に接種するワクチン。
動物の健康と安全な食品の
供給に貢献しています。

血漿分画製剤

献血により得られた血液から
作られる医薬品。
先天性疾患や重篤な疾病の
治療に貢献しています。

新生児 マススクリーニング

赤ちゃんの疾患の早期発見と
早期の治療開始に貢献してい
ます。

KMバイオロジクス株式会社

〒860-8568 熊本市北区大窪一丁目6番1号

<https://www.kmbiologics.com>





●

We chase the *miracles* of science to improve people's lives

私たちは人々の暮らしをより良くするため、科学のもたらす奇跡を追求します。

●

サノフィ株式会社

〒163-1488 東京都新宿区西新宿三丁目20番2号 東京オペラシティタワー

www.sanofi.co.jp

sanofi

医薬品を通して人々の健康に貢献するために
JCRは、長年にわたって、希少疾病用医薬品の開発に取り組ん
でいます。治療薬を待ち望む多くの患者の皆さんと家族の思いに
一日も早く応えるため、独自のバイオ技術、細胞治療・再生医療
技術を活かした付加価値の高い新薬の開発を進めています。



希少疾病に、
JCRのできること。



JCRの医薬品を、
世界中の患者の皆さんへ。





日本標準商品分類番号 876349

抗血液凝固第Ⅸa/X因子ヒト化二重特異性モノクローナル抗体
血液凝固第Ⅶ因子機能代替製剤

薬価基準収載

生物由来製品、処方箋医薬品[※]

ヘムライブラ[®]皮下注

HEMLIBRA[®]
emicizumab

エミシズマブ(遺伝子組換え)注
注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

12mg
30mg
60mg
90mg
105mg
150mg

※「効能又は効果」「用法及び用量」「警告・禁忌を含む注意事項等情報」等については
電子化された添付文書をご参照ください。

製造販売元



中外製薬株式会社

〒100-8324 東京都中央区日本橋區町2-1-1

〔文献請求先及び問い合わせ先〕 メディカルインフォメーション部
TEL, 0120-189-706 FAX, 0120-188-705

〔販売情報提供活動に関する問い合わせ先〕
<https://www.chugai-pharm.co.jp/guide/na/>

Roche グループ

2025年3月作成

福岡・北九州・遠賀 こどもと家族の願いをかなえるチーム にこり

LITTLE WISHES COME TRUE

いっぱい笑って、
いっぱい遊ぼう。



子どもの可能性を信じること。
それは、病気や障がいの有無に関わらず、
一人ひとりが自分らしく成長できる
未来を信じることです。

にこりは、
医療的ケア児や障がいのある子どもたち、
そしてその家族とともに歩みながら、
「できない」ではなく
「どうしたらできるだろう」を
考え続けています。

児童発達支援、放課後等デイサービス、
小児の訪問看護、おやこの訪問看護、
小児のヘルパーステーション、
産前産後支援、相談支援、福祉有償運送。

さまざまな事業を通して、
子どもと家族の日常に寄り添い、
新しい道を創り続けています。

すべての子どもが、
いっぱい笑って遊べる毎日を目指して。

認定NPO法人にこりについて、
もっと知る。
この続きを、ぜひご覧ください。

子どもたちの笑顔の裏には、
たくさんのお悩みと、
たくさんのお話があります。

にこりの活動や想いについては、
ホームページで詳しく紹介しています。
QRコードからご覧いただけます。

